予算委員会　会議録

日　時　　令和２年６月２６日（金曜日）　午前１０時３１分　～　午前１０時５８分
場　所　　臼杵庁舎２階　全員協議会室

出席委員の氏名

委員長　戸匹　映二	副委員長　武生　博明	委　員　河野　　巧
委　員　川辺　　隆	委　員　匹田久美子	委　員　内藤　康弘
委　員　伊藤　　淳	委　員　梅田　徳男	委　員　広田　精治
委　員　奥田富美子	委　員　若林　純一	委　員　長田　徳行
委　員　久藤　朝則	委　員　大塚　州章	委　員　大嶋　　薫
委　員　吉岡　　勲	委　員　牧　　宣雄	

オブザーバー

議　　長　匹田　　郁

欠席委員の氏名

（　な　し　）

説明のため出席した者の職氏名

政策監（総務・企画担当）	加島　和弘	政策監兼部落差別解消推進・人権啓発課	小坂　幸雄
総務課長	柴田　　監	財務経営課長	荻野　浩一
秘書・総合政策課長	平山　博造	子ども子育て課長	尾本　　浩
教育次長兼教育総務課長	甲斐　　尊	学校教育課長	後藤　徳一
総務課参事	佐世　善之	その他関係職員	

出席した事務局職員の職氏名

局長　東　弘樹　　次長　後藤秀隆　　副主幹　高橋悠樹　　書記　清水　香

傍聴者

（　な　し　）

会議に付した事件及び審査結果

番　　号	件　　名	審査結果
第７０号	令和２年度臼杵市一般会計補正予算（第４号）	原案可決

午前１０時３１分　開議

○委員長（戸匹映二）

ただ今から予算委員会を開催いたします。本日は傍聴の申し出があった場合は、許可をしたいと思いますのでご了承願います。

これより議事に入ります。本委員会に付託されました議案は１件であります。本日の委員会はお手元に配付しております委員会次第により進行いたします。また質疑及び答弁を行う場合の挙手についても徹底をお願いいたします。それでは第７０号議案　令和２年度臼杵市一般会計補正予算（第４号）を議題といたします。まず総務関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎総務課長（柴田　監）

（　令和２年度　６月補正予算重点事項説明資料　１ページに基づき説明　）

◎秘書・総合政策課長（平山博造）

（　令和２年度　６月補正予算重点事項説明資料　１ページに基づき説明　）

○委員長（戸匹映二）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員（河野　巧）

１ページ目の人件費の部分ですけども、感染防止対策に対するスクールスタッフが８名いるんですけども、どこの小中学校に配備をされますか。それと歳入の１番。コロナ対策の今、課長が言われる第２次補正分地方創生分があると思うんですけど、臼杵市として全体でどれ位を見込んでいるのか、その部分の金額が妥当なのかどうかというのがちょっと分からないんでその説明をお願いします。

◎教育次長兼教育総務課長（甲斐　尊）

河野議員の１点目の質問についてお答えします。今回の予算により配置する学校ですが、今回国の補助金額では標準の学級が５学級以下の学校は該当となりません。６学級以上の学校となりますが、現在この学校が市内では１０校あります。このうちの臼杵小と野津小についてはすでに配置しておりますので、この２校を除いた８校が今回の事業の対象となりますので、こ

の８校を中心に配置を検討して参りたいというふうに思っております。以上です。

◎財務経営課長（荻野浩一）

河野議員のご質問にお答えします。今回国が２次補正の地方創生臨時交付金、約２兆円ですよね。その分のうち、臼杵市における額について、内示が昨日ありまして、６億１，８００万円という内示をいただいております。これについては、先ほど言いましたスクールサポートスタッフであったり、臼杵市がすでに取り組んでいる事業。また新たに追加する案につきまして、新しい生活様式といったものの事業に対して、この交付金を使っていきたいというふうに考えております。

○委員長（戸匹映二）

他にありませんか。

○委員（奥田富美子）

先ほど説明のありましたスクールサポートスタッフですが、すでに配置されている臼杵小学校、野津小学校は、スクールバスもあるので、そもそもすごく大変だから、スタッフがいるところに加えてのコロナ対策なので、十分なのかどうかというのがちょっと気になりますが、どうでしょうか。

◎教育次長兼教育総務課長（甲斐　尊）

奥田議員のご質問にお答えいたします。この臼杵小、野津小につきましては、これまでの補助要綱に基づきまして、スクールサポートスタッフの配置をやっております。これまでの内容は先生方のテストの採点の補助とかですね、スクールバスの送迎の補助等をやっておりました。今回の国がつけた補助の主旨はですね、感染症対策を徹底してもらいたいということでございますので、冒頭総務課長が申しましたとおり、主旨といたしましては、校内の清掃等となっております。臼杵小、野津小につきましては、この点も新たに付加されますが、このへんにつきましては、教育委員会のほうで、まあ今はもちろん現状も先生方、一般の職員も一緒になって、清掃活動しておりますから、さらにこの２校につきましては、その点フォローを十分行うようにして情報発信して参りたいと思います。よって臼杵小、野津小、スクールサポートスタッフが今回のコロナウイルス感染症対策によって、過重な労働とならないように、配慮して参りたいというふうに考えております。以上です。

○委員長（戸匹映二）

他にありませんか。

○委員（若林純一）

２点ありまして、まず１点目は、臼杵小と野津小にすでに配置済みということなんですけども、その方々の人件費もやはり国の１０分の１０の補助を受けての配置なのかどうかを教えてください。それともう１点は国の２次補正予算に関わる臼杵市への配分については先ほど説明がありましたように、新しい生活様式というようなご説明でしたが、追加の例えば支援金とかは様々なその分野の可能性が考えられるわけですが、その２次補正の分の配分をどうしていく

かということが、どういう過程を経て決まっていくのかと。議会との関連はどうなっていくのかということについて、ご説明いたします。

◎教育次長兼教育総務課長（甲斐　尊）

若林議員の１点目のご質問にお答えいたします。既に配備しております臼杵小、野津小につきましては、国３分の１、県３分の２ということで、実質市の手出しがないことになっておりますが、ただし制度上通勤手当が、補助対象となっておりませんので、その分につきましては、今回の歳入にもありますが、臨時交付金を充てる予定となっております。以上になります。

◎財務経営課長（荻野浩一）

若林議員のご質問にお答えいたします。先ほども言いましたけども昨日内示がありまして、その内示の中身としましては、２つあります。事業継続と雇用維持等への対応。もう一つが新しい生活様式を踏まえた地域経済の活性化等に対応としまして、合わせて６億というふうな話をさせていただきました。この後その６億の中身、どういった事業にしていくかというものを、実施計画書等を作って進めていくというふうな形になろうかと思います。また、議会等にも説明するところには今現時点でははっきりとしたお答えはできないんですけど、実施計画等作っていけばですね、中身については、その段階にならないと分かりませんけども、お示しをするような形になろうかというふうには考えております。以上です。

○委員（若林純一）

お伺いしたかったのは、前回のように議会が何も分からず専決が行われるというようなことがないのかどうか聞きたかったんですが、今の説明ですとそこが分からないので、もう一度説明お願いします。

◎財務経営課長（荻野浩一）

若林議員のご質問にお答えします。今言ったように専決については、市長が、今議会冒頭に、若林議員からそういった質問を受けてですね、答弁したかと思うんですけども、今から進めるにあたっては、専決についてもですね、議会の皆様方には十分説明していきたいというふうに市長も答弁したと思います。今回、これから進めるにあたってはですね、こういったことを含めて、やっていきたいというふうに考えております。以上です。

○委員長（戸匹映二）

他にありませんでしょうか。

（　「なし」の声　）

○委員長（戸匹映二）

以上で総務関係の議案質疑を終わります。執行部の皆さんご苦労さまでした。

休憩いたします。

午前１０時４４分　休憩

午前１０時４５分　再開

○委員長（戸匹映二）

再開いたします。次に福祉保健関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎子ども子育て課長（尾本　浩）

（　令和２年度　６月補正予算重点事項説明資料　２ページに基づき説明　）

○委員長（戸匹映二）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員（河野　巧）

歳出のほうですけれども、子ども子育て課もコロナの関係でいろんなチケットとか給付とかで職員の方は大変な思いをされていると思うんですけども、これはもう現在の職員でまわしていこうということでよろしいですか。それともまたパートの方を雇ったりとかは考えていないでしょうか。

◎子ども子育て課長（尾本　浩）

こちらの給付金の事務につきましては、現在児童扶養手当関係の職員が一人おりまして、それに加えて母子父子の自立支援員を通常２名配置しておりまして、その３名で事務を進めていけると我々のほうでは思っておりますので、新たに職員を雇うということは今考えていません。以上です。

○委員長（戸匹映二）

他にありませんか。

（　「なし」の声　）

○委員長（戸匹映二）

以上で福祉保健関係の議案質疑を終わります。執行部の皆さんお疲れさまでした。休憩いたします。

午前１０時４９分　休憩

午前１０時５０分　再開

○委員長（戸匹映二）

再開いたします。次に教育委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求

めます。

◎教育次長兼教育総務課長（甲斐　尊）

（　令和２年度　６月補正予算重点事項説明資料３ページに基づき説明　）

○委員長（戸匹映二）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員（若林純一）

学校におけるコロナの感染対策っていうのはどこまでやるかっていうのが難しいものがあると思うんですけど、全国的な基準というようなものに立脚してこういう購入を決めたのか。もしくは例えば臼杵市独自の考え方があるのか、感染症対策をどこまでやるかっていうのを、どんなふうに決めて、こういうふうに決まっていったかをお願いします。

◎教育次長兼教育総務課長（甲斐　尊）

基本的には国、県が示したガイドラインと立脚して、行っているところでして、手前みそにはなりますが、臼杵市といたしましては、その基本に立脚したうえで、更に必要と思われる予算を今回計上させていただいたというところでございますので、よろしくお願いします。

○委員（若林純一）

その更に必要と思われるって、要するに国県に立脚したうえで、更に必要と思われる更にってどの部分になるんでしょうか。

◎教育次長兼教育総務課長（甲斐　尊）

そこを合理的に説明するのは中々難しいんですけども、教育委員会といたしましては、現場の先生方や保護者の懸念等も十分配慮しながら、そういったことが言葉として更にというふうな表現になっております。そのへんはそういった保護者の意見等ですね、現場の先生の意見を汲みとったうえでの判断ということでご理解を賜りたいと思います。

○委員（若林純一）

今回、交付金を全てあてるということで、予算的にどうこうということは無いんですけど、これから先たとえば近隣に発生するとか市内で今の状況変わってくるとかいったときに、どういう感染症対策をとるかについて、話し合う場を作っとかないといけないんじゃないかと思うんです。今の話だと、直接現場の声を聞いて、市で考えましたということなんですが、やっぱりこれから色んな状況が出てくるとか、色んなその追加の対策のするしないの話の時に、やっぱりそのコロナ対策室っていうのがあるわけで、少なくとも臼杵市がどこまでやるかっていうのが独自基準を持ち込むんであればですね、やっぱりそういう対策の検討会みたいものを作って対応しないと、いろいろ要望があったからつけました。要するに十分つけていますという現場サイドはそれでありがたいとは思うんですが、お金出す側としてですね、どこまでやるかっていうのはやっぱりきちんとした検討を経た結果として、進めていただきたいと思うので、そのあたりのお考えはどうなんでしょうか。

○委員長（戸匹映二）

これは提案でよろしいですか。答弁は求めますか。

○委員（若林純一）

当然やっていただけると思いますので、答弁は求めません。

○委員長（戸匹映二）

はい。他にありますでしょうか。

（　「なし」の声　）

○委員長（戸匹映二）

以上で教育委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前１０時５６分　休憩

午前１０時５７分　再開

○委員長（戸匹映二）

再開いたします。これより第７０号議案　令和２年度臼杵市一般会計補正予算（第４号）に対する討論に入ります。

（　な　し　）

○委員長（戸匹映二）

以上で討論を終わります。これより採決を行います。第７０号議案については、原案の通り可決することにご異議ありませんか。

（　「異議なし」の声　）

○委員長（戸匹映二）

異議なしと認めます。よって第７０号議案については、原案のとおり可決すべきものとして決しました。以上で第７０号議案についての議案審査を終わります。以上で本委員会に付託を受けました議案の審査を終わります。予算委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前１０時５８分　閉会

臼杵市議会委員会条例第３０条第１項の規定により、ここに記録を作成する。

令和２年６月２６日

臼杵市議会

予算委員会委員長　　戸匹　映二